

YES - Metals!

Young Engineers Society - Metals!

日本技術士会・金属部会 金属部門若手技術者の会 機関誌

第112号

2020年

3月4日

文責 福崎、松
下、大園、岡崎

1月25日(土)、機械振興会館にて、YES-Metals!の第112回会合が開催され、総勢24名(内、8名はZoom参加)の方が参加されました。今回は遠方の方向けにネット配信(ZOOM)のトライを行いました。

1. 『日中ビジネスモデルの考察』 講演者：顧 静さん(株国際テクノサービス機構)

顧さんは中国江蘇省出身で中国と日本の技術者の交流会やコーディネーターなどをされています。日本へは最初、名古屋大学大学院に留学しました。その後、中国の松下電池で社長秘書を行いました。子育てなどで長くは続きませんでした。それから医薬品の翻訳の仕事を行っていました。

ある時、関東で展示会が開催した時に参加して、中国人の経営者と出会います。そこから日本技術士会を知り、日本の専門家の紹介や日中の技術移転のお仕事を従事するようになりました。

中国側は中国政府、コンサル会社の自治体が多く、日本側は日本技術士会、大学、その他顧さんの個人的なつながりがあります。現在の主な活動は中国への技術紹介または技術者紹介。中国政府主催の日中交流会(3泊4日程度)。日本の大学(京都大学など)との連携などがあります。

中国と日本の間で仕事をする顧さんですが、文化の違いも感じています。中国は失敗を繰り返しながら臨機応変にすすめるタイプ。日本は失敗しないように計画をしっかりたてるタイプ。どちらも良いところがあり、特に中国人は日本人を真面目で信頼できる人と思っていると言われました。顧さん自身はこのような文化の違いの間に立つことが多いためコーディネーターとして上手くいくように日々活動しています。

これからも日本と中国の良いところを調整し、両国の技術的な親交・交流に貢献されるでしょう。本日は貴重な講演ありがとうございました。



連絡先： 携帯電話：090-6136-7648 E-mail：shizuka@sailpharma.com

2. 『独立技術士 ～1年目の振り返り～』 講演者：福崎 昌宏さん(金属) …ネット配信

福崎さんは、金属部門の技術士で、技術士事務所の代表です。2社の14年間の会社員生活を経て、2019年4月に、独立開業されました。主として、①独立自営と会社員の違い、②1年目の振り返り、③新規顧客獲得について、講演いただきました。

① 独立自営と会社員の違い：会社員(継続的な仕事・安定収入)から、独立自営(自己責任・成功報酬)に変わって、仕事の確保=安定した収入が、最も課題でした。独立技術士は起業家・経営者との意識を強く持ち、事業計画・財務計画・顧客獲得・サービスの充実をはかりました。行動指針は、10歳年下の技術者に誇れる自分としました。

② 1年目の振り返り：金属の組織分析に集中し、セミナー講師・執筆などの地道なPR活動により、分析調査の実務を獲得していきましました。1年目は、収支±0の結果でした。

③ 新規顧客獲得について：セミナー開催、ホームページ、ブログ、メルマガ、ユーチューブ、口コミ、紹介、執筆、書籍出版、新聞広告、展示会出展などの多様な手段を活用しました。顧客の顔を見ながら、解決策を提示できる直接対面が有効的でした。顧客獲得に向けての情報発信は、顧客の情報源を中心に行うことを主として実行してきました。顧客第一に徹し、更なる新規顧客の獲得を目指します。

福崎技術士事務所の更なる発展・成長、独立技術士活躍の風土醸成を、大いに期待します。

日本の技術力向上に刺激・気付きを与える福崎技術士事務所を祈念いたします。

連絡先：masahiro@fukuzaki-gi-jutsushi.com



3. 『正しい想いは必ず実現する！(20200125版)』 講演者：松下 滋さん(金属、総監) …ネット配信

松下さんはセラミックメーカーで切削工具の設計を30年以上の経験し、多くの特許を取得され、新製品を世に送り出されるなど活躍をされました。その後、昨年4月に「卒業」後、Excelsior! 技術士事務所を開設し、活動されています。

今後の日本経済の縮小と急速な高齢化に対して、若い世代に依存すべきではない。世界との協調が必要。技術士の力で活力ある日本を。グローバルで活躍できる質の高い技術士を増やす。技術士の国際社会への貢献力向上をはかる。それらの思いから、技術士事務所を創業されたそうです。

技術士事務所の3つの柱は、①同志を増やす・人材育成・人の輪を広げる活動。②講演、セミナー講師、企業顧問など。③商品・事業の提案を行い、事業化を進める事。となります。その一つに、東大 AI 教育ベンチャーの顧問としての活動があります。また、自立企業勉強会の開催や、ラジオ出演で技術士の紹介をされるなど、活躍の幅は大変広がっています。様々な活動が相互に作用しながら活動を進められている状況をご紹介頂きました。

松下さんの考える技術士事務所の開業は、独立ではなく、自立。立たせていただける自分に成長すること。協力したい、応援したい、一緒にやりたいと人が思ってくれる人になることが大切との事です。社会に対して正しい思いを持つ、利他の実践、視点を高く。誰にも負けない努力をする。チームで立ち向かう。それらの実践により「正しい想いは必ず実現する」とのことです。

今後は、①出版、②発信 (YouTube)、③ラジオ番組を持つ、といった活動を計画されているそうです。松下さんのさらなる活躍を祈念します。ありがとうございました。



4. グループワーク

「技術の最新情報の収集方法について」参加者ひとり一人が実践していることを話す中で、互いに沢山の気づきがありました。



5. ZOOM 配信の結果

今回は福崎さんと松下さんの講演を ZOOM 配信しました。視聴時の注意事項に課題があるものの、概ね良好でした。今後も企画したいと思います。

1) 回答数： 8名/8名

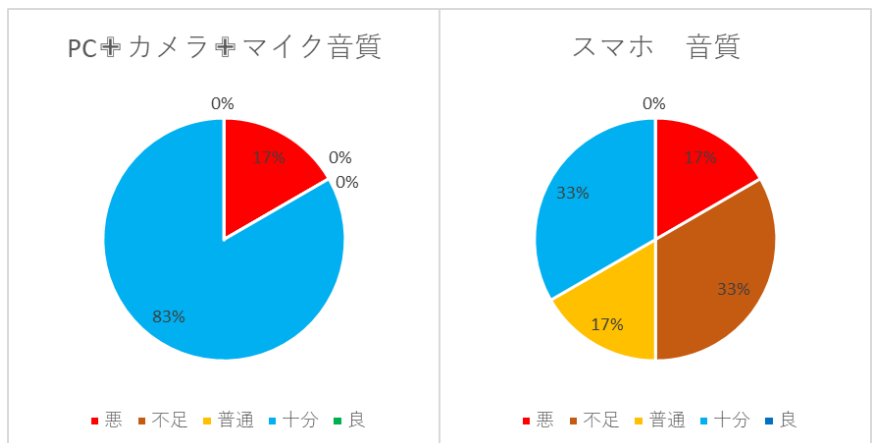
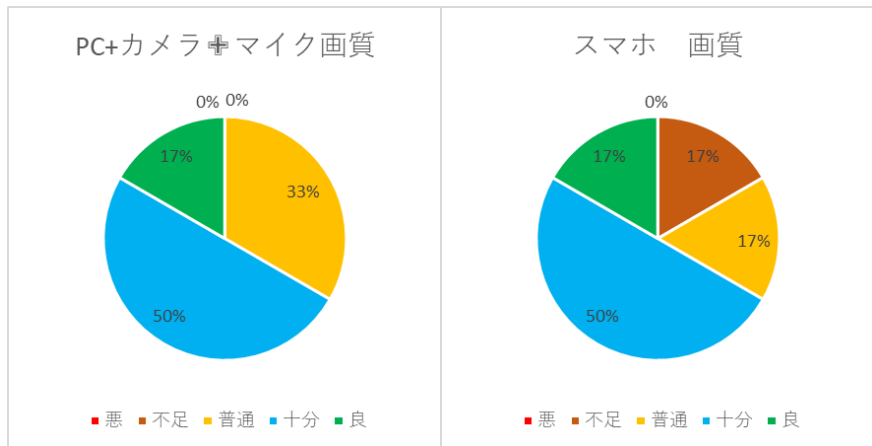
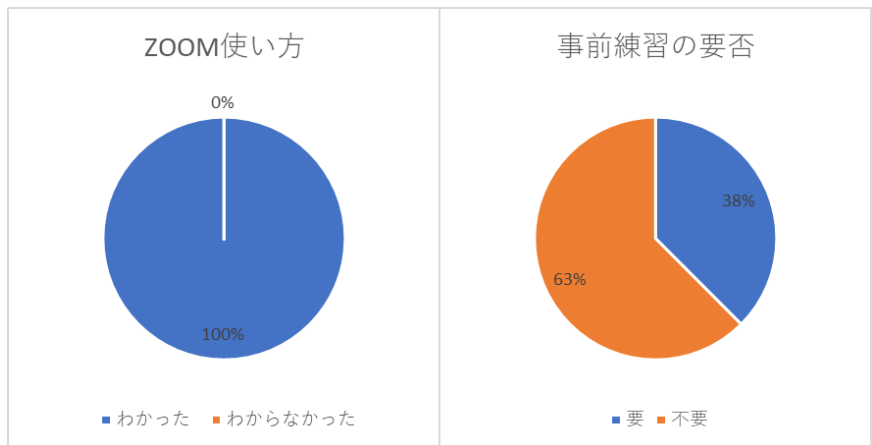
2) ZOOM の使い方

全員使い方は解ったものの、希望者には事前練習を行った方が良い。

3) 使用機器について

福崎さんはPC とカメラ、マイクを、松下さんはスマホのみを使用し、機器の比較を行いました。

画質に差がなく、概ね良好という結果でした。音質はスマホの方が悪い結果ですが、聴講者のマイクが ON で雑音が入ったのが原因です。今後は、聴講者のマイク、カメラ OFF を周知徹底したいと思います。

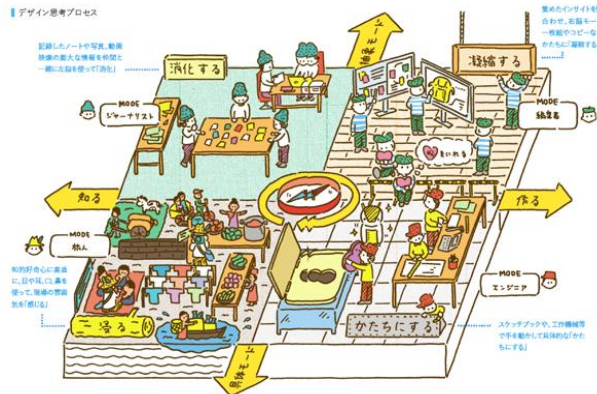
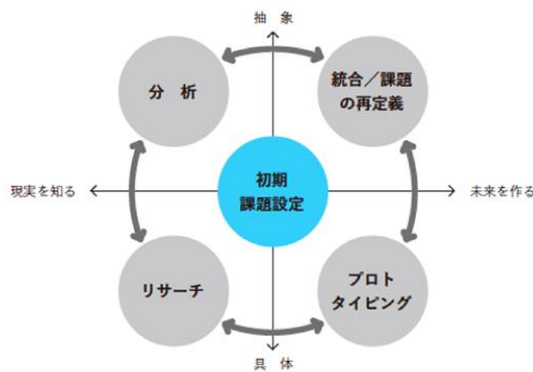


【投稿】

YES-Metals!の幹事の大菌です。幹事の多くの方は、日本技術士会の様々な委員会や団体でも活動され、グループ間の交流を促進させています。私も、昨年夏より「青年技術士交流委員会」の一員として活動を開始しました。

4/18(土)に、青年技術士交流委員会「デザイン思考実践～イノベーションを起こそう～」という、私が企画したイベントを開催します。「デザイン思考」はデザイナーの創造プロセスを体系化したもので、近年は様々な分野で活用されています。0から1を生む、新事業を立ち上げる、新製品やサービスを生み出す、という過程で効果を発揮します。このイベントでは、ワークで実践方法まで身に付けられるプログラムとなっています。

デザイン思考の創造サイクル



デザイン思考の構図 (出典: 21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由 (佐宗邦威氏))

本講座は日本のデザイン思考第一人者の佐宗先生のチェックを受けて実施しますので、内容はお墨付きです。



技術者の業務において大変役立つ内容ですので、関心のある方はぜひご参加ください。日本技術士会HPのCPD行事から申込できます。お問合せは大菌 (kengo.oozono@gmail.com) までお知らせください。

YES-Metals!機関紙では、会員の皆さんより投稿を募集しております。内容は、近況、携わった業務のPR、会合の感想等、何でも結構です。文字数は、最大A4半ページが目安です(一行コメントも大歓迎)。会員の皆様は是非、投稿をお寄せ下さい。投稿先: yesmetals@gmail.com 以上